

# 令和6年度事業計画書

## 1. 事業方針

令和2年から続く新型コロナウイルス感染症の位置づけが、ようやく2類から5類に引き下げられ、新型コロナ禍以前の日常が、徐々に取り戻されつつあります。

これから社会経済活動は、回復に向けて積極的な動きになることが予想されます。

さて、我が国の少子高齢化の急速な進展により、サービス業などの分野において人手不足が生じ、さらに、介護、育児などの福祉の分野においても労働力不足が生じており、高齢者が仕事をすることで現役世代のサポートとなり、社会の活性化のためには非常に重要となります。それゆえ、地域において、高齢者の知識や経験を活かした就業機会を提供するシルバー人材センター事業の社会的役割は、ますます大きくなっています。

このような中、当センターの更なる発展に向けて、これまで以上に請負・委任による受注確保に注力し就業の適正化を図り、安中市商工会と連携するなどしてシルバー派遣事業をいっそう推進し、会員の就業機会を拡大するとともに、会員の増強を図ります。

また、安全就業の面では、昨年度も傷害事故と物損事故が多発したことから、事故防止のための講習会等の開催頻度を増やし、事故撲滅に向けて安全パトロールなどを強化し、安全就業対策を徹底してまいります。

さらには、事業の展開にデジタル技術の活用を積極的に推進するため、引き続き、スマホやタブレット端末の操作講習会を開催します。

令和6年の秋ごろから施行となるフリーランス法により、シルバー人材センターと会員との契約方法が少々変わりますので、随時説明を行いながら進めてまいります。

また、小規模事業者の会員に係るインボイス制度については、従前と同様に課税を免除される予定ですので、シルバーの経営に対しても好結果を生むこととなります。

今後も、シルバー人材センター事業の基本理念である「自主・自立、共働・共助」の精神で、組織活動を推進しながら、地域社会づくりに寄与するとともに、引き続き、公益法人として信頼性の高い地域に親しまれるシルバー人材センターを目指し、事業運営の効率化と基盤の強化に会員・役職員一丸となって取り組んでまいります。

## 2. 事業目標

1、会員数	500人
2、受注件数	3,000件（うち派遣事業 35件）
3、就業延人員	40,000人（ ” 7,000人）
4、契約金額	237,540千円（ ” 45,000千円）
5、就業率	87%

## 3. 事業実施計画

### (1) 組織活動の促進

- ・ シルバー人材センター事業の基本である自主的・主体的な運営を図るために、公益法人として役員や会員の組織活動を促進し、事業の拡大・発展を図る。
- ・ 会員の意見や要望をセンターの運営に反映させるため、地域班会議を開催するとともに、会員相互の親睦と交流を図るため地域班の活動を積極的に推進する。
- ・ 職群班の組織体制を整え、会員の共働・共助を基本とした連帯意識の向上を図り、安全就業の推進に努める。
- ・ 中長期計画の作成に取り組む。

### (2) 就業開拓の推進

- ・ 地域ニーズの把握に努めるとともに発注者の信頼を高め、シルバー人材センター事業の基本理念のもと、理事を中心とした就業開拓を推進して就業機会の拡大を図る。
- ・ シルバー人材センター事業の適正な運営を行い、積極的にシルバー派遣事業を推進する。ことに、安中市商工会の法人会員となり、商工会のイベント等で商工会の他の会員と交流して、安中市シルバー人材センターをPRし、派遣の仕事の受注拡大につなげてゆく。
- ・ 就業期限の設定に関する基準の円滑な運用により、未就業会員対策に努める。

### (3) 安全・適正就業の推進

- ・ 安全就業基準の遵守を徹底し、安全就業意識の高揚と交通安全の強化を図り、自己による健康管理を推進する。
- ・ 安全適正就業委員会で安全パトロールを頻繁に実施するとともに、石飛防護ネット等の積極的な活用を促し、事故防止対策に全力を尽くす。

### (4) 会員の増大

- ・ 理事主導による入会説明会を行い、会員自らによる入会促進活動を進める。
- ・ 会報「シルバーのぞみ」、市広報、ホームページ等で広報活動を行う。
- ・ 高齢者人口の男女割合から見て、拡大の余地のある女性会員の就業機会の開拓に努め、女性会員の倍増を目指す。

### (5) 普及啓発の推進

- ・ 会報「シルバーのぞみ」を発行する。
- ・ 行政や関係団体イベント等へ参加し、地域住民に対して広くシルバー事業のPRを積極的に行う。(福祉ふれあいまつり、商工まつり)
- ・ 普及啓発月間に合わせボランティア活動を実施し、地域住民へシルバー事業の浸透を図る。

### (6) 各種講習会の実施

- ・ 発注者の多様なニーズと信頼に応じていくため、後継者の育成、安全就業に関する各種講習会を実施して知識及び技能の習得を図る。
- ・ 事務処理の効率化・簡素化を図るため、引き続きスマートフォン等の操作に不慣れな会員に対して講習会等を開催すると共に、スマートフォンを活用した業務連絡、Web入会システムの導入に向けて、デジタル環境の整備を進める。

### (7) 会員の福利厚生増進

- ・ 会員相互の活動を支援するとともに、諸事業への積極的な参加を推進する。

(8) 枝木粉砕によるチップの有効利用の検討

- ・ 植木剪定により発生する枝木の粉砕作業は、剪定業務の拡大に伴い増大している。このような中、移転された粉砕場を効率的に活用し、発生したチップの有効な利用方法を引き続き検討して行く。

(9) 組織体制の整備

- ・ 今般、シルバー人材センターの業務が多岐にわたり、その事務が煩雑さを増し処理に多大な時間を要して、繁忙期には職員が不足していることと、災害時や疫病の蔓延、事故などにより一部職員が欠けた時に、業務を継続して行えるよう、正規職員を1名採用して危機管理への体制を整える。